

平成14年4月12日

各 位

会社名 三井トラストホールディングス株式会社
(コード番号 8 3 0 9)
住 所 東京都港区芝三丁目33番1号

平成14年3月期業績予想及び配当予想の修正について

平成14年3月期業績予想及び平成14年3月期1株当たり配当予想について、下記のとおり修正することといたしましたのでお知らせいたします。

記

1. 業績予想の修正

(1) 平成14年3月期連結業績予想 (平成13年4月1日 ~ 平成14年3月31日)

(単位 : 億円)

	前回予想 (平成14年1月) (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B) - (A)	増減率 %
経 常 収 益	5 , 1 0 0	5 , 1 0 0	—	—
経 常 利 益	2 , 6 0 0	3 , 4 0 0	8 0 0	30.7%
当 期 利 益	2 , 1 0 0	2 , 9 0 0	8 0 0	38.0%

【修正の理由】

当社子会社 (中央三井信託銀行) において、査定の一層の厳格化により不良債権処理損失が増加したことならびに株式等の損切り・減損処理を徹底したこと等を主な要因として、経常利益、当期利益ともに前回予想比減少いたしました。

(2) 平成14年3月期単体業績予想 (平成14年2月1日 ~ 平成14年3月31日)

(単位 : 億円)

	前回予想 (平成14年1月) (A)	今回修正予想 (B)	増減額 (B) - (A)	増減率 %
経 常 収 益	2 3 0	2 3 0	—	—
経 常 利 益	2 2 0	2 2 0	—	—
当 期 利 益	1 2 0	1 6 0	4 0	33.3%

【修正の理由】

法人税見込額の減少により当期利益が増加いたしました。

2. 配当予想の修正

平成 14 年 3 月期の期末配当につきましては子会社株式の売却益により配当可能利益を十分に確保できる見通しであります。現在の経済情勢・市場環境を勘案し、経営の安定性確保のため社外流出を抑制する必要があると判断し、遺憾ながら普通株式 1 株当たり 2.50 円に減配させて頂きたいと存じます。なお、優先株式配当についての変更はございません。

【平成 14 年 3 月期の 1 株当たり年間配当予想】

		期末	年間
前回予想 (平成 14 年 1 月)	普通株式	5 円 00 銭	5 円 00 銭
	第一種優先株式	40 00	40 00
	第二種優先株式	14 40	14 40
	第三種優先株式	20 00	20 00
今回修正予想	普通株式	2 円 50 銭	2 円 50 銭
	第一種優先株式	40 00	40 00
	第二種優先株式	14 40	14 40
	第三種優先株式	20 00	20 00

3. 役員報酬・賞与について

当社では、役員賞与については一切支給しておらず、また役員報酬については合併前より漸次引き下げを実施しておりますが、現下の経営環境等を踏まえ更なる引き下げを図る予定でございます。

以 上

(ご参考)

1. 子銀行（中央三井信託銀行）の業績予想概要

(単位：億円)

	14年3月期		
	前回予想 (平成13年11月) (A)	今回予想 (B)	増減 (B)-(A)
実勢業務純益	1,550	1,550	—
業務純益	1,150	1,150	—
経常利益	2,800	3,600	800
当期純利益	2,100	2,900	800

信託勘定償却前、一般貸倒引当金繰入前

- ・ 経常利益・当期利益の減少800億円のうち400億円は、不良債権処理損失が前回予想の1,300億円から1,700億円に増加したことによるものです。

【株式等関係損益】

- ・ 株式・投信等の損切り・減損処理を徹底したことにより以下のとおりとなりました。

(単位：億円)

	株式等関係損益《概数・見込》		
		株式	投信等
売買損益	2,000	1,200	800
減損処理	1,600	1,550	50
計	3,600	2,750	850

その他有価証券の減損処理額は全体でも略1,600億円の見込です。

【減損処理の基準】

- ・ 減損処理の実施にあたっては、以下の銘柄を対象としております。

下落率50%以上	全ての銘柄
下落率30%～50%	要注意先以下の全ての銘柄 上記以外の先で価格回復可能性がない銘柄
破綻懸念先以下は、下落率30%未満の銘柄についても減損処理を実施。	

		保有株式の下落率		
		30%未満	30%～50%	50%以上
債務者区分	正常先			
	要注意先			
	破綻懸念先以下			
		減損処理する		

：価格回復可能性を判定

【株式・投信の売却額】

- ・ 株式については、株式取得機構への持込みを含め、積極的に売却を進めた結果、13年度中の売却額（簿価ベース）は略4,500億円でありました。
- ・ 期末残高は減損処理と併せて略6,000億円減少し、13年3月末の略1兆9千億円から1兆3千億円程度となる見込です。
- ・ また、投資信託についても13年度中に略1,800億円を売却しております。

【その他有価証券の評価損益】

（単位：億円）

	13年9月末		14年3月末《概数・見込》	
			益	損
その他有価証券(減損処理後)	3,401	0	800	800
株式	2,834	100	700	600
債券・その他	567	100	100	200

2．平成14年3月末自己資本比率の見込について

三井トラストホールディングス(連結)	10%半ば
Tier 1 比率	5%半ば
中央三井信託(連結・単体)	10%程度
Tier 1 比率	5%程度

以　　上